

## 建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 佐藤 晃 一

<b>①重点施策項目名</b>	生活道路の整備を行います
<b>②目標値</b>	市道田代大官町・萱方線及び市道轟木・衛生処理場線の道路改良事業の推進を図ります。 (H28)・事業進捗率（事業費ベース）：11％ (H32)・事業進捗率（事業費ベース）：78％
<b>③今年度の取組方針</b>	交通安全上問題があるなど、整備の必要性が高い市道田代大官町・萱方線及び市道轟木・衛生処理場線の道路改良事業の推進を図ります。 今年度は、主に測量、設計、地質調査、用地測量、物件等調査などの業務を行い、地元をはじめ関係機関との協議に取り組みます。
<b>④上半期の取組内容</b>	市道田代大官町・萱方線においては、5月に地質調査業務、6月に道路構造物設計業務及び用地測量業務、9月に物件等調査業務に着手し、事業進捗を図るために取り組んでおります。 また、市道轟木・衛生処理場線においては、5月に測量設計業務に着手しており、関係機関と協議を踏まえ道路計画の策定に取り組んでおります。
<b>⑤下半期の取組内容</b>	
<b>⑥数値目標の結果</b>	
<b>⑦成果と課題（次年度に向けて）</b>	

### ◇所管部長の指示

上半期

各道路改良事業については、今後も引き続き関係機関との連携を図りながら、事業の進捗に努めること。

下半期

## 建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 佐藤 晃一

①重点施策項目名	機能を重視した効率的な道路整備を進めます
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の見直し</li> <li>(H28)・都市計画道路の見直し路線： 8路線</li> <li>(H32)・都市計画道路の見直し路線： 12路線</li> </ul>
③今年度の取組方針	<p>都市計画道路の見直しにおいては、鉄道交差部の都市計画道路を中心に、見直し・再編等の方向性を見出していきます。</p> <p>また、主要地方道佐賀川久保鳥栖線など県道の整備促進と未整備区間の整備計画策定について県へ要望していきます。</p>
④上半期の取組内容	<p>都市計画道路の見直しにおいては、国、県、JR、学識経験者、地元各種団体などで組織する検討懇話会を5月に開催し、都市計画道路の方針未決定路線の課題などについて意見を頂いており、今後も見直し・再編等の方向性を見出すために、検討懇話会及び関係機関との協議を進めていきます。</p> <p>また、県道の整備促進においては、佐賀地区建設関係合同期成会の要望活動を通じて、国土交通省、財務省、地元選出国會議員及び九州地方整備局へ主要地方道佐賀川久保鳥栖線整備促進の要望活動を実施しております。</p>
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

### ◇所管部長の指示

#### 上半期

都市計画道路の見直しは、検討懇話会の意見を踏まえ、今後も各関係機関との連携を図り、見直し・再編等の方向性を見出すことに努めること。また、県道の整備促進については、国、県及び関係機関との連携を図りながら努めること。

#### 下半期

## 建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 佐藤 晃一

<b>①重点施策項目名</b>	空き家対策を推進します
<b>②目標値</b>	(H28)・空き家の実態把握及び所有者の意向調査の実施 ・指導等により除却に至った空き家数(延べ)18戸 (H32)・指導等により除却に至った空き家数(延べ)30戸
<b>③今年度の取組方針</b>	適切な管理が行われていない空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用を促進するため、今年度、正確に把握出来ていない市内の空き家の実態及び所有者等の意向を調査したうえで、空き家対策を推進していきます。
<b>④上半期の取組内容</b>	空き家実態調査業務については、6月に設計書を作成し、入札後、契約を行いました。7月に調査のための準備を行い、8月に各地区囑託員会にて空き家の実態調査に関する事前説明を行ったうえで、9月12日から、現地調査に入っており、11月末までに終える予定です。
<b>⑤下半期の取組内容</b>	
<b>⑥数値目標の結果</b>	
<b>⑦成果と課題(次年度に向けて)</b>	

### ◇所管部長の指示

#### 上半期

空き家の実態及び所有者の意向を把握するとともに、国・県・近隣自治体の動向を注視しながら新年度に向けて、対策協議会の設置・対策計画の策定のための準備を進めること。

#### 下半期